

放射線サーベイチーム編成に伴う チーム員の募集について

(公社) 福島県診療放射線技師会

会長 新里 昌一

会員の皆様におかれましては、ご清祥のことと存じます

さて(公社)日本診療放射線技師会では、各都道府県単位で放射線サーベイチームを編成し、活動を開始することになりました。

福島県においては会長、管理士部会を中心にチーム編成を検討しておりますが、広く会員からの参加も募りたいと思いますので、ぜひ参加いただきますようお願いいたします。

ご参加いただける方は、技師会ホームページ内の「会員専用問い合わせ窓口」から本文欄にサーベイチーム参加としてメールでの連絡をお願いいたします

何卒、趣旨をご理解いただき参加をお願い申し上げます

日放技発第240号
平成28年4月25日

都道府県（診療）放射線技師会長 各位

公益社団法人
日本診療放射線技師会
会長 中 澤 靖 夫
理事 北 川 明 宏
(災害対策委員長)

放射線サーベイチームの設立について（お願い）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の諸事業ならびに災害支援に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、このたびの熊本地震で犠牲になられた方々へ哀悼の意を表するとともに、被災されました皆様にお見舞い申し上げます。

さて、本会では、原子力災害時に住民等の放射線被ばくを防止し、住民等の安全と安心を確保することを目的に、平成25年9月21日に島根県および島根県診療放射線技師会と「放射線被ばくの防止に関する包括的相互協力協定」を締結し、平成27年8月17日に、福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県の各府県および診療放射線技師会、ならびに、関西広域連合と「原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する協定」を締結し、相互の協力体制を構築いたしました。また、それにあわせ、当該放射線技師会においては、放射線サーベイチームを組織いただいているところで

す。

本年度においては、本サーベイチームの組織を47都道府県にも拡大し、活動がよりスムーズに展開できるように準備していきたいと考えています。

つきましては、下記要領により、貴会においてチームを設立いただくとともに、報告をいただきますよう、お願い申し上げます。 敬具

記

1 チーム設立にあたって

- (1) チームは、リーダー1名および、メンバー最低7名～最大30名で編成をお願いいたします。
- (2) メンバー数は都道府県の規模に応じて貴会で決定をお願いいたします。
- (3) 放射線管理士の活躍の場なので、多くの放射線管理士に参加していただきたいと思っております。もちろん、放射線管理士以外の方も歓迎いたします。
- (4) 日本赤十字社は独自で活動されるので、日赤勤務の方は、メンバーから外していただいたほうが良いと思います。
- (5) 提出は、別紙「原子力災害時各県放射線サーベイチーム一覧」にてご提出をお願いいたします。

2 提出（報告）期限

- 原子力発電所立地県 5月15日
- 上記以外の県 6月11日

以上

①提出先・照会先
日本診療放射線技師会
理事・災害対策委員長 北川 明宏
kitagawa.akihiro@jart.or.jp